

## 第7回調査分析部会 議事録

1. 日時：平成25年10月29日（火） 16：00－17：32

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、青木部会長代理、秋山委員、五百木委員、橋本委員、渡邊委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、森宇宙戦略室参事官、深井宇宙戦略室参事官、頓宮宇宙戦略室参事官

(3) 説明者

独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）	吉村調査国際部長 光盛調査分析課長
一般社団法人日本航空宇宙工業会（SJAC）	宇治技術部長

4. 議事録

(1) インドの宇宙政策について

JAXAから資料1-1について説明を行った。説明の概要は以下のとおり。

- ・2012年に国家開発審議会で承認された第12次5ヵ年計画において、以下の目標を設定。①衛星通信及び航行測位の強化、②地球観測分野でのリーダーシップ、③GSLV MkⅢロケットの運用開始、④宇宙科学、月探査、火星周回、太陽観測、⑤スピンオフの促進
- ・宇宙政策体制に関して、宇宙委員会委員長、DOS（宇宙局）及びISRO（インド宇宙研究機関）の長官を同一の人物が兼ねていることが特徴的。
- ・インドの外交は多極主義を志向。ロシアとの伝統的な友好関係に加え、米国やアジア（ASEAN等）との関係強化を図っている。宇宙分野では、37カ国・機関と協力協定等を締結。
- ・衛星利用プログラムの代表例として、INSAT/GSATを活用した遠隔医療・遠隔教育等による農村地域開発プロジェクトを実施している。このプロジェクトが投票率や女性の知識レベルの向上に寄与したと報道されている。

SJACから資料2について説明を行った。説明の概要は以下のとおり。

- ・ISROが開発した宇宙機器及びサービスを国営企業のAntrix社が商業展開している。Antrix社は、欧州EADS-Astrium社と提携し、通信衛星の共同開発やEADS-Astrium社のSpot-6の打ち上げを実施。

説明の後、以下のようなやりとりがあった（以下、○質問・意見等、●回答）。

- 有人宇宙プログラムの事前研究が開始されたとのことだが、インドの宇宙政策の中でどのような位置付けなのか。（渡邊委員）

- DOS の第 12 次五ヵ年計画（2012 年～2017 年）において、有人宇宙プログラム関連技術の開発が盛り込まれたため、国として取り組む方針の模様。中国の有人宇宙プログラムに刺激を受けているとも想像できる。（JAXA 光盛調査分析課長）
- インドは打ち上げサービスを積極的に展開している。PSLV ロケットは SS0（太陽同期軌道）へ約 25 億円で、ピギーバックについては約 1.5 億円で打ち上げサービス提供。PSLV ロケットによる相乗り打ち上げの斡旋を複数の企業が行っている。イプシロンロケットの競合ロケットとして注視する対象と考える。（中須賀部会長）

## （2）中国の宇宙政策について

JAXA から資料 1-2 について説明を行った。説明の概要は以下のとおり。

- ・ 宇宙開発は総合力の向上等の観点から党・国家において高いプライオリティを保持。2 期 10 年という長期政権の下で継続的に宇宙政策を推進。
- ・ 宇宙分野においてロシア、フランス、英国、ドイツ、カナダなどと協力を推進。また、アフリカ、南米、中央アジアなどへの協力も行っている、APSCO（アジア太平洋宇宙協力機構）の枠組等によりアジア太平洋地域における協力を促進。近年は、EU（欧州連合）／ESA（欧州宇宙機関）との対話や国連との連携も活発化させている。
- ・ 2011 年の宇宙白書では、衛星応用産業や新興産業の発展促進等を進めるとともに、知的所有権、標準化等に関する取組を強化するとしている。また、宇宙産業政策の整備を明記している。

SJAC から資料 2 について説明を行った。説明の概要は以下のとおり。

- ・ CASC（中国航天科技集团公司）及び CASIC（中国航天科工集团公司）が国営企業として宇宙開発を実施。日本の宇宙関連の従業員は合計で 7000 名程度だが、CASC のロケット開発部門の従業員は約 3 万人、衛星開発部門は約 1 万人が勤務している。
- ・ 新興国に対して、衛星製造と衛星打ち上げサービスをセットで販売。これまで、ナイジェリア、ベネズエラ、パキスタンの通信衛星を打ち上げ。

説明の後、以下のようなやりとりがあった。

- APSCO は、COPUOS（国連宇宙空間平和利用委員会）のオブザーバーでもあり、COPUOS で発言することもできる。（青木委員）
- 中国は、米国の輸出規制のため、測位関係等、自国で宇宙技術を持たなければならないという意識が強いと思われる。（中須賀部会長）

以 上